

スマイル

みなさん。こんにちわ！保護者と地域の方で大宮小学校朝の読み聞かせボランティアをしている「にこにこサークル」です。もっとたくさんの方に知ってもらいたく、おたよりを発行します。「よく分からない」「もっと知りたい」に届くおたよりになればと思います。

WHATにこにこサークル？

2015年度（平成27年度）からにこにこサークルの代表を務める嘉数順子さんにお話を聞きました。



いつから読み聞かせに携わっていますか？

「私の読み聞かせの出会いは16年前。長男が1年生の時に、当時のクラスにあった週3回の読書時間に、担任の先生から読み聞かせをしてもらえないかお誘いを受けた時でした。」

サークルになった経緯を教えてください。

「当時、各学級の読み聞かせができるクラスとできないクラスでばらつきが出ていて、朝の読み聞かせとは別にPTAのおやこクラブさんが大宮小タイム（昼休み）に週1回読み聞かせをしている状態でした。慰霊の日やクリスマスなどの季節ごとの読み聞かせもありました。7・8年前に読み聞かせをサークル化しようと動きが出てきて、子どもたちからサークル名を募集し、週1回各クラスにボランティアが入る読み聞かせ「にこにこサークル」が出来上がりました。」

読み聞かせを続けていて嬉しかったことはどんなことですか？

「サークル名にもあるように、子どもたちは読み聞かせの人たちがみんな優しく笑顔で、自分たちも笑顔になる時間だと実感してくれています。関わる人1人1人の思いが伝わっていると感じています。これからも『今日の読み聞かせは、何の本を読んでもらえたの？』と親子の話題になるように頑張りたいです。」

にこにこ工夫 その1

絵本バイキング

100冊の絵本を中央図書館などであらかじめ借りてきて、読み聞かせ当日に図書室の机にずらーっと並べ、ボランティアの人が使えるようにしています。

大人にとっても新しい本との出会いができると共に、絵本に迷ったらここから選ぶこともできる仕組みになっています。

裏面へ→  

どんな人がしているの？



夏休み前に読み聞かせボランティアの9名で読み聞かせについて初の対談を行いました。色々な立場の人達がいる、きっかけや想いなど聞き、共感を受けたり勉強になったりと楽しい時間でした。抜粋し紹介いたします。



聞いてくれている小学生が私にとってはボランティア

今年80歳になる仲村さん。夏休みのラジオ体操前に宮里公民館で紙芝居をしていたのをきっかけに嘉数さんに誘われ今でも携わっています。読み聞かせが自分の「リハビリ」にもなっていると笑顔で話してくれました。

仲村さんが読む大型紙芝居は、立体的に作ってあって「絵」を見ながら感じ楽しめるもので、気構えなく読めるとのこと。仲村さんは、うちなーぐちを大事にしている、読み聞かせが魅力的な方言を伝える機会になればと思っています。

「とりあえずやってみるか」で大丈夫

買い物かごに絵本を入れて参加する奥間さんは2年生の子をもつ保護者のお父さん。

はじめは、子ども達の反応が気になったそう。やってみると、しっかり聞いていて反応もあり、今では子ども達に会うのが楽しいと話してくれました。嬉しかったのは、子どもたちから「いつまた来てくれる？」と自分の読み聞かせを待っていてくれる言葉もらったこと。リピーター（ファン）ができる関係も読み聞かせならではですね！

読み聞かせの流れ

毎週木曜日予定

午前8時～

図書室に集合。準備など

8時25分

担当クラス前へ

～担任の先生からの合図で入室

児童からお願いしますの挨拶

自己紹介・読み始め

8時40分

終了。図書室にもどる

～クラス記録表と次回入りたい希望クラス記入し終了

一緒に活動しませんか？

やってみたい方は、木曜8時に大宮小学校図書室に直接お越しください。はじめは様子を見るだけでもOKです。9月は7日、14日、21日が予定日です。お待ちしております！

2学期に「読み聞かせボランティアのための講座」を開催予定です。一歩踏み出してみようかなと関心がわいた方、ぜひお越しください！

